

下井草図書館 YAだより vol.23

10代のYA(ヤングアダルト)世代にお届けします。

# 本の庭



2022年 | 秋号 |



今号の特集 岩波ジュニア新書

“ちょっと深く”がちょうどいい!



図書館員からのおすすめ



新刊案内



## 今号の特集



岩波ジュニア新書



“ちょっと深く”がちょうどいい



[A] 新書

『平安男子の元気な!生活』 岩波ジュニア新書  
川村裕子/著 (岩波書店)

まったりと優雅なイメージがある、平安貴族の男子たち。じつはハードワークな元祖ビジネスパーソンだった!? 意外とアクティブな、千年前の男子たちの生活エピソード集。



[A] 新書

『人とミルクの1万年』 岩波ジュニア新書  
平田昌弘/著 (岩波書店)

搾乳の発明と乳利用の開始は人に新しい生業をもたらした。自然環境に強く影響を受けつつ、ユーラシア大陸で多様に発達した乳文化について解説しながら、乳利用の約1万年にわたる発達史の全体像をまとめる。



[A] 新書

『食べものから学ぶ世界史』  
人も自然も壊さない経済とは? 岩波ジュニア新書  
平賀緑/著 (岩波書店)

食べものから世界経済の歴史を学べば、人も自然も壊さない「経世済民」が見えてくる。すべての問題の根底にある資本主義のカラクリを、小麦粉や砂糖、油、トウモロコシ、豚肉などの食べものから解き明かす。

## 新刊案内



[930] 英米文学

『住所、不定』  
スーザン・ニールセン/作  
長友恵子/訳 (岩波書店)

4か月前、ぼくとママはアパートを追い出されてしまい、キャンピングカーで暮らしはじめた。一時的なはずの車上生活は長引き、しだいに身も心も追い詰められていき…。「隠れホームレス」のリアルを描く。



[913] 日本の小説

『パンに書かれた言葉』  
朽木祥/作 (小学館)

2011年の震災後、母の生まれ育ったイタリアへ旅だった少女、光。そこで、今まで考えたこともなかった真実を知ることになり…。戦争を乗り越えて生きてきた人々の“希望”を描く、ヒロシマとイタリアをつなぐ物語。

## 図書館員からのおすすめ



[913.6] 日本の小説

『だれもが知ってる小さな国』  
有川浩/著 村上勉/画 (講談社)

はちみつを採集する「はち屋」の息子、ヒコ。ある日、両親の手伝いをしに山に入るが、どこからか声が聞こえて…。誕生から半世紀の時をこえ、佐藤さとるが生み出したコロボックルの世界を有川浩が書き継ぐ。



季刊 YAだより「本の庭」

4・7・10・1月発行



杉並区立下井草図書館

杉並区下井草3-26-5

電話：3396-7999

※ 掲載している本の内容は「TRC MRAC」より